



NS Solutions

 **NIPPON STEEL**

2023年3月期

(2022年4月1日～2023年3月31日)

決算説明会

2023年4月28日

日鉄ソリューションズ株式会社

代表取締役社長 玉置 和彦

目次

■ 今回決算説明会のサマリー

■ I . 2023年3月期 実績

■ II . 2024年3月期 業績見通し

■ III . 2021-2025年度 中期事業方針の進捗

今回決算説明会のサマリー

2023年3月期 実績

- 売上・利益ともに見通しを上回り、過去最高を更新
- 受注高、期末受注残についても過去最高

2024年3月期 業績見通し

- 増収・増益の見通し
- 顧客・マーケットの変化、中期戦略を踏まえ、売上収益区分を変更

株主還元

- 期末配当 35円→40円（期末5円増配）
- 来期は、年間80円を予定（年間5円増配）
（中間40円、期末40円）

2023年3月期 実績

I -1. 連結決算業績 IFRS

単位：億円

	2022年3月期	2023年3月期	対前年		2023年3月期	対見通し	
	A	B	差異 B-A	増減率 (B-A)/A	見通し(2022/10/27) C	差異 B-C	増減率 (B-C)/C
売上収益	2,703	2,917	+214	+8%	2,900	+17	+1%
売上総利益	604	659	+55	+9%	650	+9	+1%
売上総利益率	<22.4%>	<22.6%>	<+0.2%>		<22.4%>	<+0.2%>	
販売費及び一般管理費	300	330	+30	+10%	340	-10	-3%
その他損益	-5	-12	-6		0	-12	
営業利益	299	317	+19	+6%	310	+7	+2%
営業利益率	<11.1%>	<10.9%>	<-0.2%>		<10.7%>	<+0.2%>	
税引前利益	307	321	+14	+5%	315	+6	+2%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	205	220	+15	+7%	211	+9	+4%

1-2. サービス・顧客業種別売上収益 IFRS

単位：億円

	2022年3月期		2023年3月期		対前年差異		コメント
	A		B		B-A		
	うち		うち		うち		
	ITインフラ		ITインフラ		ITインフラ		
業務ソリューション	1,456		1,568		+112		
産業・流通・サービス	762	<223>	785	<193>	+23	<-30>	運輸系で大型案件の反動減があるも、プラットフォームが堅調
金融	350	<98>	345	<92>	-5	<-5>	規制対応案件の落ち込みがあったものの、メガバンク・政府系が底堅くカバーし、前年並み
公共公益他	344	<53>	438	<40>	+94	<-12>	官公庁向け大型基盤構築案件が貢献
サービスソリューション	899		969		+69		
ITインフラ	352	<374>	389	<326>	+38	<-48>	クラウド事業を中心に増収
鉄鋼	547		579		+32		日本製鉄とグループ会社向けがともに好調
子会社等	348		380		+32		
合計	2,703		2,917		+214		
(参考) 日本製鉄向け	553		579		+26		
受注高	2,716		3,136		+420		

I -3. 連結決算業績(四半期別) IFRS

単位：億円

	2022年3月期				2023年3月期				対前年差異			
	上期	3Q	4Q	年度	上期	3Q	4Q	年度	上期	3Q	4Q	年度
売上収益	1,308	648	747	2,703	1,347	721	849	2,917	+39	+73	+102	+214
売上総利益	288	152	164	604	304	162	193	659	+17	+10	+29	+55
売上総利益率	<22.0%>	<23.5%>	<22.0%>	<22.4%>	<22.6%>	<22.4%>	<22.7%>	<22.6%>	<+0.6%>	<-1.0%>	<+0.7%>	<+0.2%>
販売費及び一般管理費	148	72	80	300	165	79	86	330	+17	+7	+6	+30
その他損益	1	0	-7	-5	0	1	-13	-12	-1	+0	-6	-6
営業利益	142	80	77	299	140	83	94	317	-2	+3	+17	+19
営業利益率	<10.8%>	<12.3%>	<10.3%>	<11.1%>	<10.4%>	<11.5%>	<11.1%>	<10.9%>	<-0.4%>	<-0.8%>	<+0.8%>	<-0.2%>
税引前利益	145	81	81	307	142	84	95	321	-3	+2	+15	+14
親会社の所有者に帰属する 当期利益	95	57	54	205	94	57	69	220	-1	+0	+15	+15

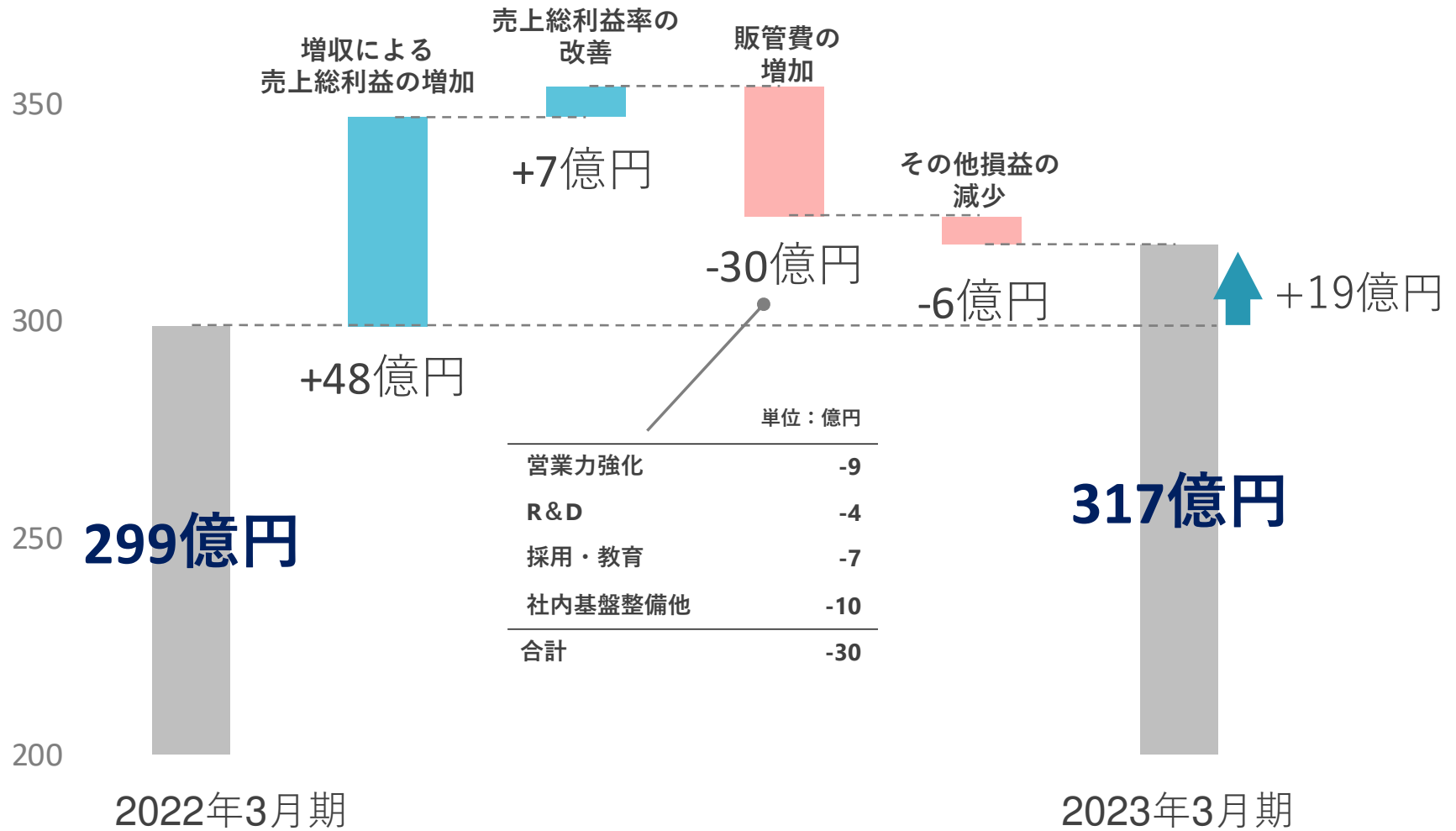
1-4. サービス・顧客業種別売上収益(四半期別) IFRS

単位：億円

	2022年3月期				2023年3月期				対前年差異			
	上期	3Q	4Q	年度	上期	3Q	4Q	年度	上期	3Q	4Q	年度
業務ソリューション	718	345	393	1,456	718	388	462	1,568	+0	+43	+69	+112
産業・流通・サービス	365	198	200	762	390	191	204	785	+25	-7	+4	+23
金融	192	77	81	350	164	87	95	345	-28	+9	+14	-5
公共公益他	161	70	113	344	164	110	163	438	+3	+40	+50	+94
サービスソリューション	437	219	243	899	462	243	263	969	+25	+25	+20	+69
ITインフラ	171	88	93	352	184	97	109	389	+13	+9	+15	+38
鉄鋼	267	131	150	547	278	147	154	579	+11	+16	+5	+32
子会社等	153	85	110	348	167	90	123	380	+14	+5	+13	+32
合計	1,308	648	747	2,703	1,347	721	849	2,917	+39	+73	+102	+214
(参考) 日本製鉄向け	266	138	148	553	277	147	155	579	+11	+8	+7	+26
期首受注残	1,226	1,233	1,102	—	1,238	1,459	1,349	—	+13	+227	+246	—

I -5. 連結営業利益分析 IFRS

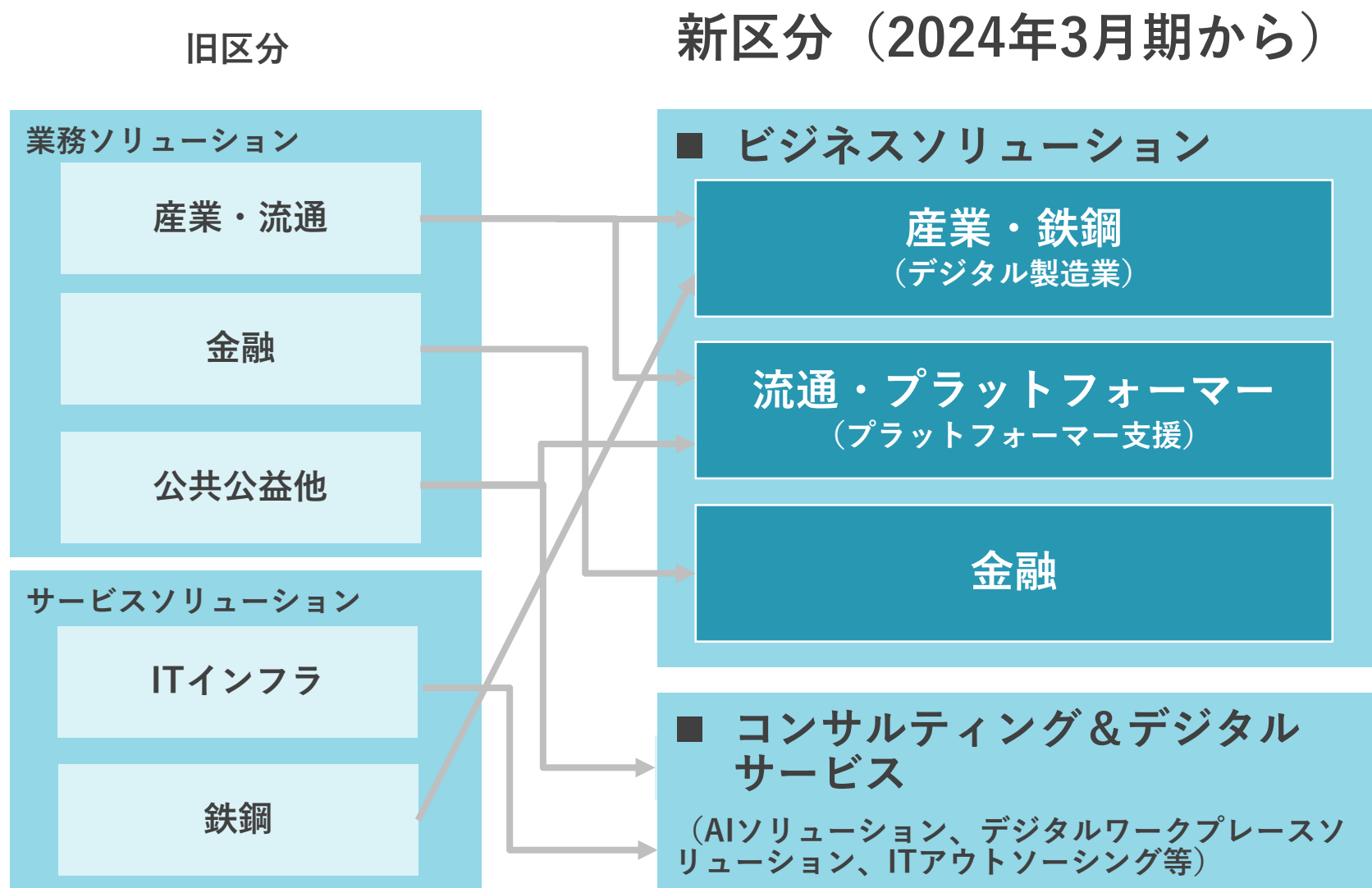
400





2024年3月期 業績見通し

II -1. 2024年3月期からの区分変更について①



官公庁向けの大規模IT基盤エンジニアリング領域は、コンサルティング&デジタルサービスとして整理。

II-2. 2024年3月期からの区分変更について②

2023年3月期の新旧対照

単位：億円

旧区分(2023年3月期)	ウチ	
		ITインフラ
業務ソリューション	1,568	
産業・流通・サービス	785	<193>
金融	345	<92>
公共公益他	438	<40>
サービスソリューション	969	
ITインフラ	389	<326>
鉄鋼	579	
子会社等	380	
合計	2,917	
(参考) 日本製鉄向け	579	

新区分(2023年3月期)		ウチ	
		コンサル デジタル	コンサル デジタル合計
ビジネスソリューション	1,833		
産業・鉄鋼	893	<152>	
流通・プラットフォーム	595	<118>	
金融	345	<94>	
コンサルティング & デジタルサービス	703	364	1,068
子会社等	380		
合計	2,917		
(参考) 日本製鉄向け	579		

II-3. 経営環境及びサービス・顧客業種別市場認識

経営環境

足元のIT投資は回復傾向。顧客のDXニーズの高まりからIT投資意欲は底堅い。一方、地政学リスクに伴うエネルギー価格の高騰、原材料価格の上昇、欧米の金融市場の不透明さなど、景気の下振れリスクを注視。

サービス・顧客業種別市場認識

産業・鉄鋼

- 製造業では、業績見通しの不透明感から、投資傾向はまだ模様
- 日本製鉄向けでは、DXニーズを踏まえた各種情報システムへの投資意欲が旺盛

流通・プラットフォーム

- 流通・小売業では、一定の成長基調はあるものの、足元の景気不透明感に注視が必要
- インターネット・プラットフォームでは、引き続きIT投資は堅調

金融

- メガバンク・政府系を中心に需要が底堅い
- 異業種による金融サービス参入ニーズも増

コンサル&デジタルサービス

- クラウド活用、汎用性の高いデジタルソリューションの引き合い、デジタル化支援ニーズが堅調
- 半導体不足の影響によるHWの納期遅延は改善傾向

II-4. 連結業績見通し IFRS

単位：億円

	2023年3月期 実績 A	2024年3月期 予想 B	増減額 B-A	増減率 (YoY) (B-A)/A
売上収益	2,917	3,050	+133	+5%
売上総利益	659	700	+41	+6%
売上総利益率	<22.6%>	<23.0%>	<+0.3%>	
販売費及び一般管理費	330	365	+35	+11%
その他損益	-12	0	+12	
営業利益	317	335	+18	+6%
営業利益率	<10.9%>	<11.0%>	<+0.1%>	
税引前利益	321	340	+19	+6%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	220	228	+8	+4%
期首受注残	1,238	1,457	+219	+18%

II-5. サービス・顧客業種別売上収益 IFRS

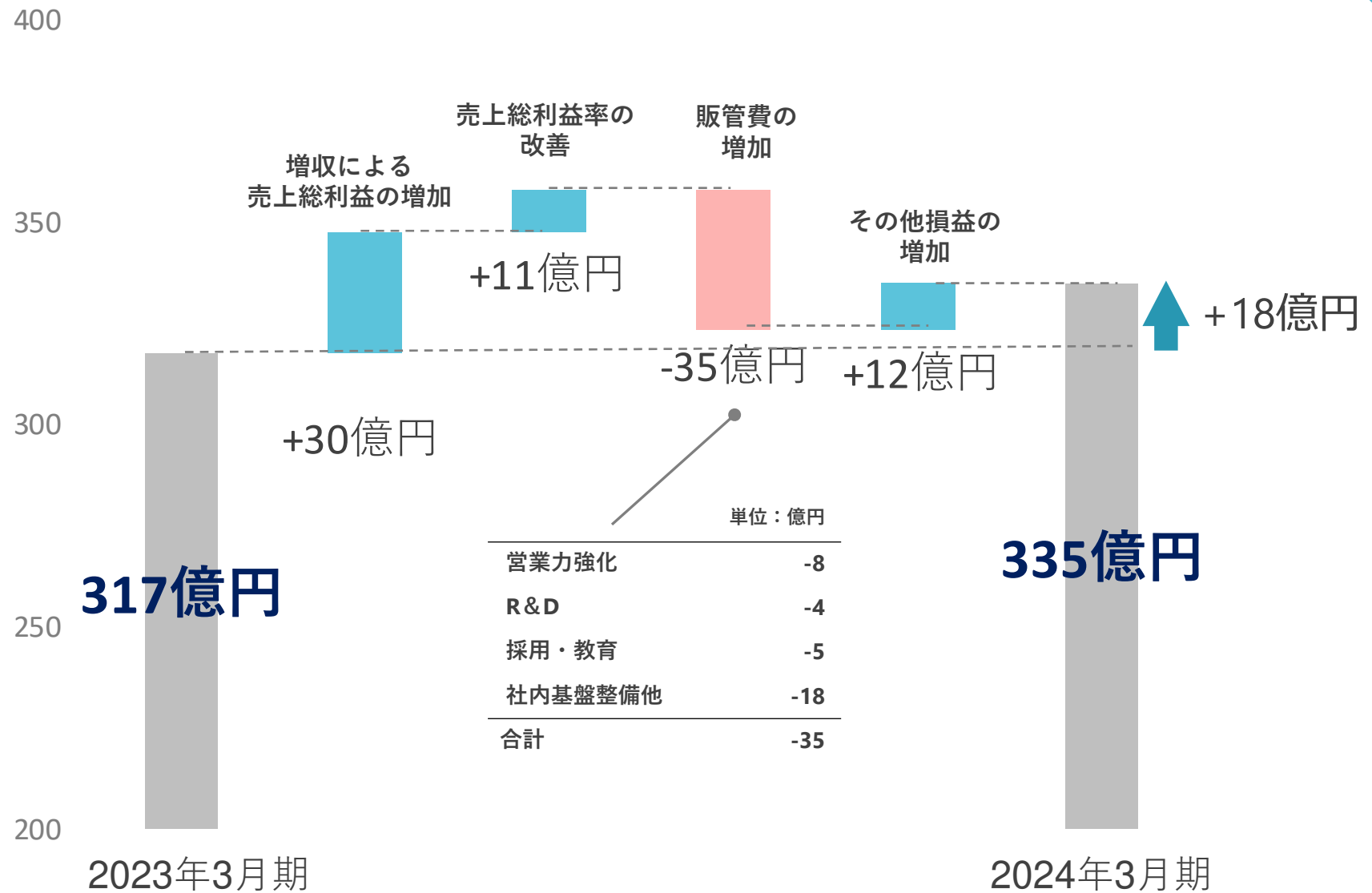
単位：億円

	2023年3月期		2024年3月期			増減額		
	コンサル& デジタル	コンサル& デジタル合計	コンサル& デジタル	コンサル& デジタル合計	コンサル& デジタル	コンサル& デジタル合計		
ビジネスソリューション	1,833		1,960		+127			
産業・鉄鋼	893	<152>	945	<170>	+52	<+18>		
流通・プラットフォーム	595	<118>	655	<120>	+60	<+2>		
金融	345	<94>	360	<110>	+15	<+17>		
コンサルティング & デジタルサービス	703	364	1,068		-23	+36	+13	
子会社等	380		410		+30			
合計	2,917		3,050		+133			
(参考) 日本製鉄向け	579		610		+31			

II-6. 連結業績 見通し | 上下別 IFRS

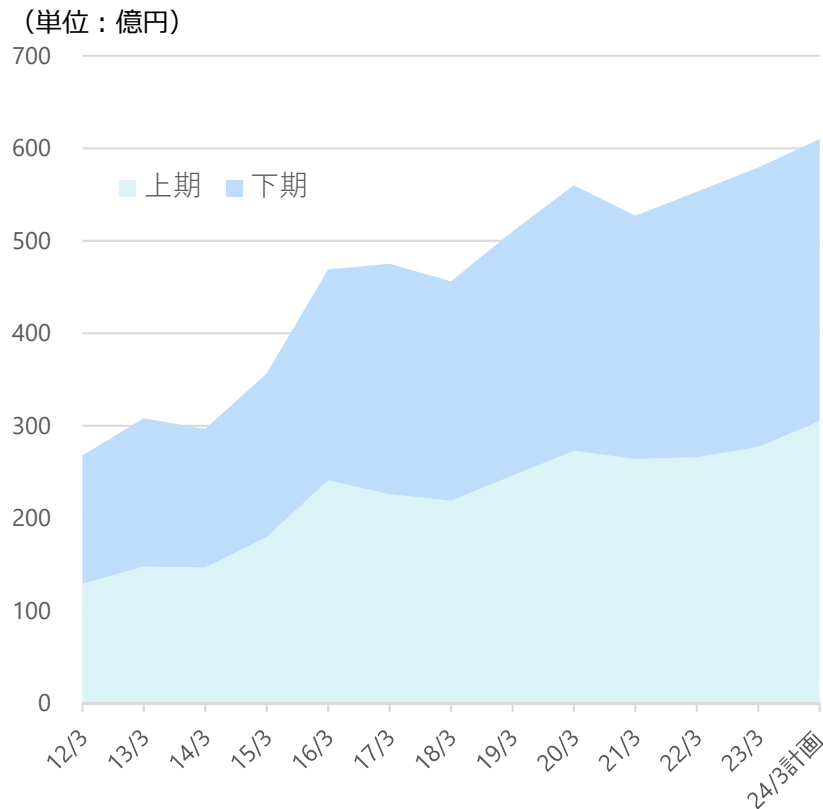
	2023年3月期		2024年3月期		増減額		増減率	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
売上収益	1,347	1,570	1,400	1,650	+53	+80	+4%	+5%
売上総利益	304	355	320	380	+16	+25	+5%	+7%
売上総利益率	<22.6%>	<22.6%>	<22.9%>	<23.0%>	<+0.3%>	<+0.4%>		
販売費及び一般管理費	165	165	180	185	+15	+20	+9%	+12%
その他損益	0	-12	0	0	0	+12		
営業利益	140	177	140	195	0	+18	0%	+10%
営業利益率	<10.4%>	<11.3%>	<10.0%>	<11.8%>	<-0.4%>	<+0.5%>		
税引前利益	142	179	142	198	0	+19	0%	+11%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	94	126	94	134	0	+8	0%	+7%
期首受注残	1,238	1,459	1,457		+219		+18%	

II -7. 2024年3月期 連結営業利益分析 IFRS



II-8. 日本製鉄対応

1. 日本製鉄向け売上の推移



2. 取り組み内容

データとデジタル技術を駆使して、
業務プロセス改革・生産プロセス
改革を推進

- ・ 統合データ解析・AI開発プラットフォーム「NS-DIG」
- ・ 無線センサ利活用プラットフォーム「NS-IoT」
- ・ 経営情報・KPIのリアルタイム把握、アクション統合データプラットフォーム「NS-Lib」
- ・ (社)データマネジメント・コンソーシアム主催「データマネジメント2023」にて「データマネジメント大賞」を日本製鉄が受賞。

日本製鉄向け売上
(2024年3月期見通し)

2023年3月期	2024年3月期	増加額
579億円	610億円	+ 31億円

II-9. 配当方針

当社は将来にわたり競争力を維持強化し、企業価値を高めていくことが重要と考えております。利益配分につきましては、株主の皆様に対する適正かつ安定的な配当及び事業成長に備えた内部留保を確保することを基本としております。

配当につきましては、連結業績に応じた利益還元を重視し連結配当性向30%を目安といたします。

1 株当たり年間配当金の計画

2023年3月期（通期）

70円→75円

連結配当性向31.2%

中間配当：35円、期末配当35円→40円



2024年3月期（通期）

80円

連結配当性向32.1%見通し

中間配当：40円、期末配当40円（予定）

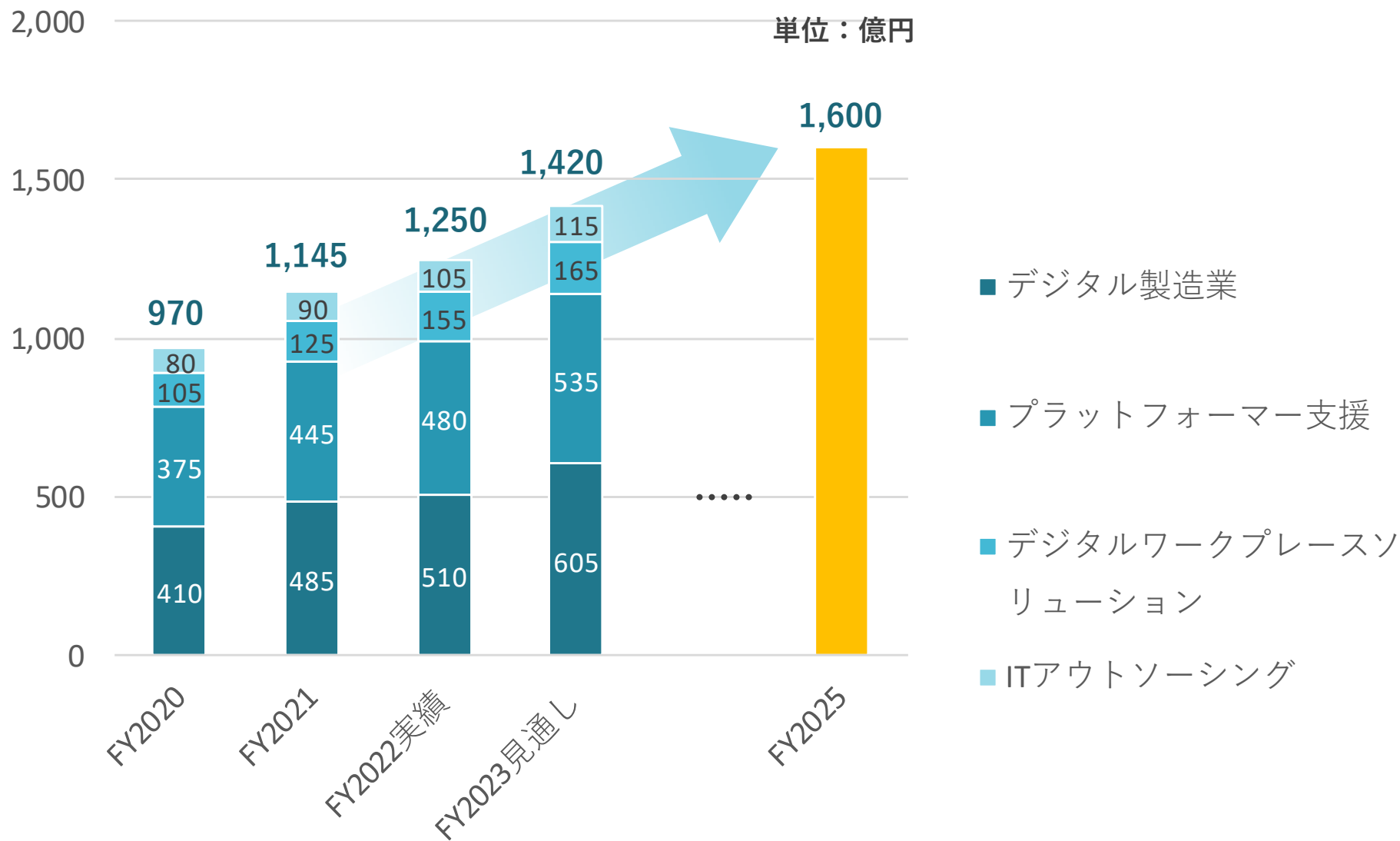


2021-2025年度 中期事業方針の進捗

III-1. 中期事業方針の進捗

	2022年度累計 (~2022)	中期事業期間 (2021~2025)
連結売上成長率 (CAGR)	8%	5~6%
注力領域売上成長率 (CAGR)	14%	10%以上
事業基盤強化投資	281億円	500~750億円 (100~150億円/年)
DX加速投資	65億円	100~150億円 (20~30億円/年)

III-2. 注力領域の進捗

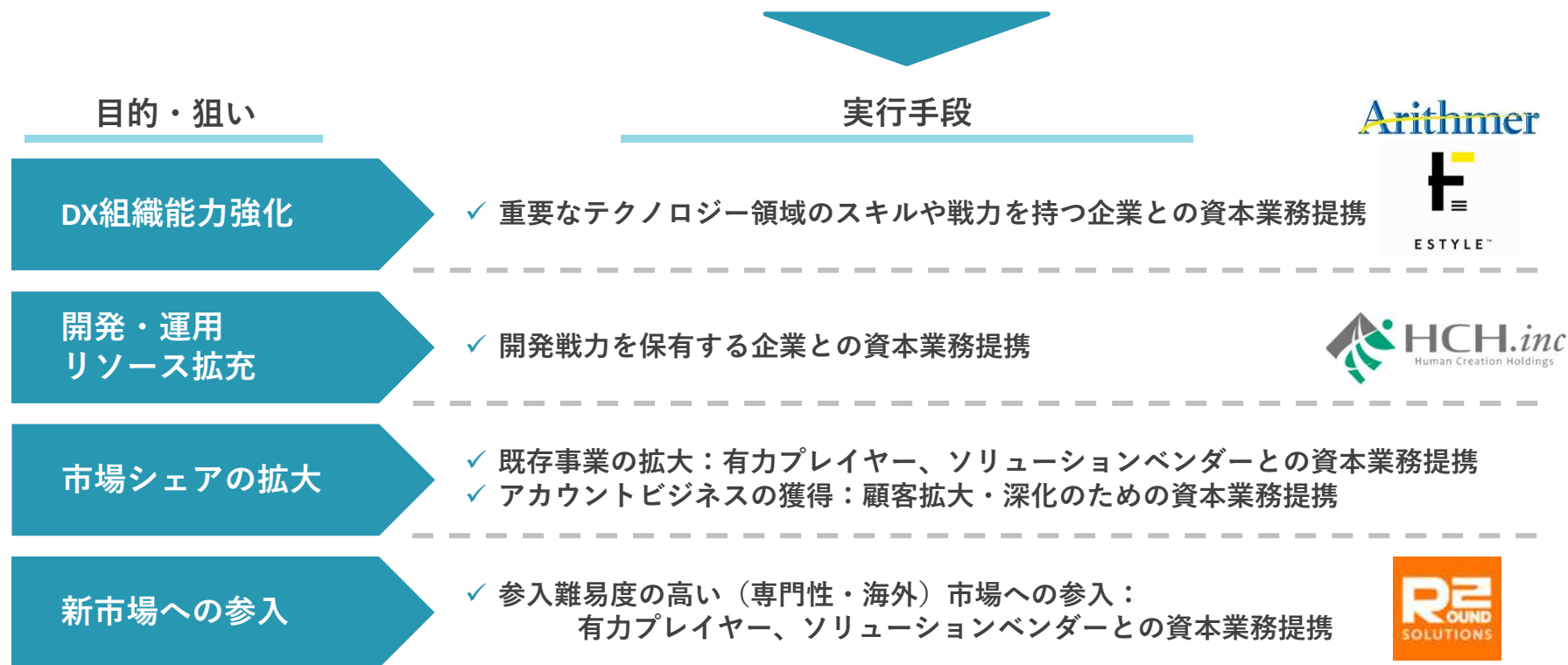


III-3. 成長に向けた投資

項目	主な内容
事業基盤強化投資	<ul style="list-style-type: none">・ IT環境整備・ プライベートクラウド等への投資
DX加速投資	<ul style="list-style-type: none">・ DX人材の集中的な育成・ 新規ソリューション開発<ul style="list-style-type: none">－ 統合データマネジメントプラットフォーム「DATAOPTERYX」－ 金融機関向けクラウド活用最適化サービス「FINARCH」－ 従業員エンゲージメント・キャリアリフレクションツール「なやさほ」
M&A等の投融資	<p>DX推進、注力領域の成長加速、生産構造強化を狙った投資</p> <ul style="list-style-type: none">・ DX組織能力の強化・ 開発・運用リソースの拡充・ 市場シェアの拡大・ 新市場への参入

III-4. 成長に向けた投資～外部成長の促進～

DX推進、注力領域の成長加速、生産構造強化を狙った、
外部リソースの取り込みによる成長の加速



III-5. (参考) 成長に向けた投資～実績～

DX組織
能力強化

Arithmer

特徴・強み

数学の要素技術をベースに、
社会課題を解決する
最先端AIエンジンを開発

出資の目的

- 数理AI技術を活かした顧客のDXニーズへの対応
- 数理的アプローチによるAI技術の研究開発加速

DX組織
能力強化

ESTYLE™

特徴・強み

- 高いコンサルティング力と技術知見
- 独自の教育による優秀なデータサイエンティストの育成・輩出

出資の目的

- データ利活用領域でのコンサルティング力と技術知見の向上
- データ利活用人材の育成

新市場
への参入

REOUND
SOLUTIONS

特徴・強み

大手製造業を中心に、
コンサルティング・SAP導入等のサービスを提供しているタイのSAPプロバイダ

出資の目的

- 日系企業の顧客へのSAPソリューション提供
- 東南アジア等へのシステムロールアウト需要への対応

DX組織
能力強化

開発・運用
リソース拡充

HCH.inc
Human Creation Holdings

特徴・強み

- 企業のDXを担う人材リソースを豊富に抱える
- 幅広いプロジェクト業務に従事、国内全国に事業展開

出資の目的

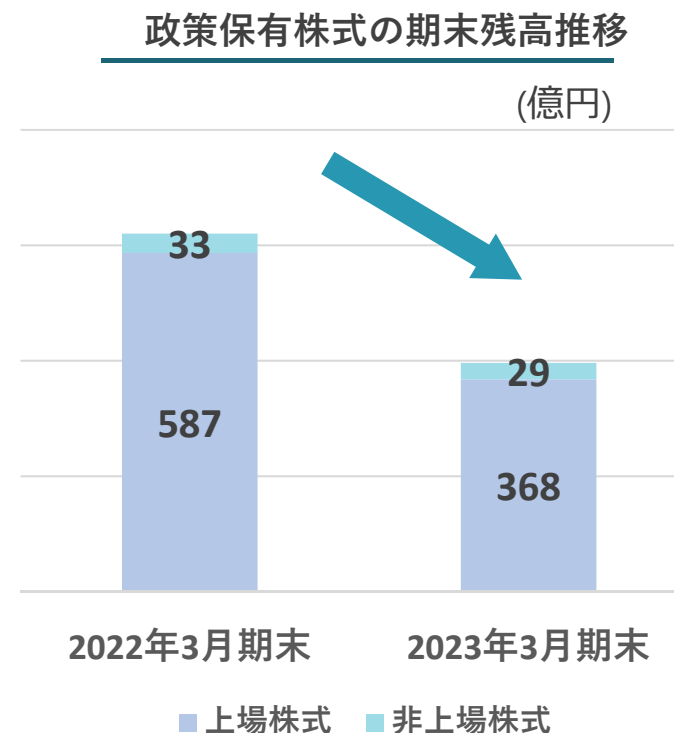
- 当社プロジェクトへのDX人材の参画
- 知見・サービスの活用による新たな事業機会の創出

III-6. 成長に向けた投資～資金の確保～

2022年4月に開示した「成長投資の資金確保に向けた政策保有株式の売却予定金額設定に関するお知らせ」の通り、成長投資の原資とすることを目的に、政策保有株式の売却を進めております。






政策保有株式の状況

2023年3月期末時点における当社が保有する上場株式は368億円、非上場株式は29億円となりました。



III-7. サステナビリティ経営の取組み

パーパスに基づくサステナビリティ経営を推進。昨年10月、統合報告書を発行。

マテリアリティ	主な取組み	主なSDGs
<ul style="list-style-type: none"> ITを通じた社会課題の解決 	<ul style="list-style-type: none"> 新薬開発のスピードアップに資するAI、データサイエンスを活用した統合データ利活用基盤の構築 IoTデバイスを用いて作業の安全管理に貢献 10年連続市場シェアNo.1の仮想デスクトップ環境「M3DaaS」の提供により、リモートワークをセキュリティ高く快適に 電子契約サービスCONTRACTHUBによるペーパーレス化への貢献 	
<ul style="list-style-type: none"> 社会インフラとしてのITサービス安定供給 	<ul style="list-style-type: none"> クラウドネイティブ等先端技術を適用した堅牢で効率的なITサービスの提供 	
<ul style="list-style-type: none"> 多様な人材が活躍できる場の創出 	<ul style="list-style-type: none"> 基幹職役割給、65歳定年制、兼業・副業制度の導入 遠隔地在宅勤務を可能とするリモートワーク拡充 エンゲージメントサーベイと職場対話のPDCAサイクル化 女性活躍（プラチナくるみん）、LGBTQ+（PRIDEゴールド） 人権方針、マルチステークホルダー方針の策定 NSSOLアカデミーによる自律的な学びの場、中核人材の育成 	
<ul style="list-style-type: none"> 環境負荷低減 	<ul style="list-style-type: none"> 高エネルギー効率のデータセンターによるクラウドサービスの提供 環境マネジメントシステムの範囲拡大、グリーン電力の導入、温室効果ガススコープ3の算定 	
<ul style="list-style-type: none"> 信頼される社会の一員としてのガバナンス/コンプライアンス追求 	<ul style="list-style-type: none"> NSSOLグループ行動規範「グローバル・ビジネス・コンダクト」の徹底 リスクマネジメント体制の強化 	

主要ニュース・プレスリリース

2023年1月27日	CONTRACTHUB@absonne、電子取引ソフト法的要件認証取得のお知らせ
2023年2月2日	筑波大学と1500人以上の社会人を対象に「働く悩み」についての共同調査を実施 ～「上司や上長に対する悩み」全体の40%が抱えたことがあることが明らかに～
2023年2月3日	大学生向け返済不要の給付型奨学金に対して資金支援を実施
2023年2月7日	ヒューマンクリエーションホールディングス社との資本業務提携契約締結に関するお知らせ
2023年3月7日	「Innovative Partner of the Year (APAC) 2022」を受賞
2023年3月13日	データ分析世界大会“Kaggle”でGold Medal獲得 ～アメフトの試合映像から選手のけがの危険性を検知する「1st and Future - Player Contact Detection」で939チーム中第9位に入賞～
2023年3月22日	キャリアリフレクションツール「なやさほ」プロダクトデザインをリニューアル
2023年3月28日	トンネル工事現場にローカル5G活用 バーチャル空間での360度ライブストリーミングにより遠隔地からリアルタイムで施工状況の確認を実現
2023年4月6日	【富士カメラ総研調べ】国内DaaS市場で仮想デスクトップサービス「M ³ DaaS」が10年連続シェア1位を獲得
2023年4月18日	世界No.1のDataRobot販売代理店として「Top Reseller Partner Award WorldWide」を受賞 ～あわせて個人賞「Partner of the Year」を6年連続受賞～
2023年4月20日	「東京レインボープライド2023」に協賛
2023年4月27日	教育現場のDX目指し、学校事務システム定額利用サービス「CampusSquare S Edition」を提供開始 ～100校以上のシステム支援の実績の下、契約から最短3か月でクイックに導入～



ともに未来を考え
社会の新たな可能性を
テクノロジーと情熱で切り拓く

NS Solutions、NSSOL、NSロゴは、日鉄ソリューションズ株式会社の商標又は登録商標です。
その他、資料中に記載の会社名・製品名は、それぞれ各社の商標又は登録商標です。